

■新潟県立 こども自然王国（柏崎事業所）

- 住所**：新潟県柏崎市高柳町高尾 30-33
■TEL：0257-41-3355
■HP：http://www.garuru-kururu.jp/ **■FAX**：0257-41-3315
■施設概要：高柳町の地域づくりの拠点として全国で3番目に設置された定員180名の温泉宿泊施設を持つ大型児童館。体験工房、野外園地、キャンプ場、スキー場などを有し、豊かな自然を活かした体験プログラムや地域と連携した伝統文化体験など週末は家族向けに平日は学校団体向けに提供している。県内のセンター児童館として研修会も実施している。
■発注元：柏崎市
■受託年：平成17年4月～管理運営・プログラム企画、平成21年4月～平成24年3月第一期指定管理者、平成24年4月～第二期指定管理者
■職員人数：常勤15名、非常勤25名 **■休園日**：毎週月曜日（祝日の場合翌日）



こども自然王国・本館



遊具広場



キャンプ場

●主な業務内容

- 日常的な来園者への対応／約9万人
- 個人・家族向けおよび学校・保育園・団体向けプログラムの企画・実施
 - ・ガルルキャンプ：小学3年生～中学3年生を対象とした2～3泊のキャンプを年数回実施。
 - ・野外活動：野外散策ツアー、昆虫大作戦、カヌー教室、スキー教室等
 - ・ナイトプログラム：ホテル観察、キャンプファイヤー、星空ウォッチング等
 - ・工作プログラム：石のペンダント、草木染め教室、自然素材を活用した木工
 - ・くるるクラブ：未就学児とその家族を対象にした幼児向けプログラムの企画・実施を年数回実施。
 - ・その他イベント：ゴールデンウィーク遊びフェスタ、田植え体験、秋祭り、もちつき体験、王国アドベンチャー、コウモリ観察会
- 県立こども自然王国子育て支援事業
新潟県内における児童館相互のネットワークづくりの推進、ならびに各地域の児童健全育成活動をサポートすることを目的としている。

●業務経歴

- 1991～1992年：ふるさと開発協議会アドバイザーとして、滞在型交流観光における自然と共生する地域づくりのアドバイスを行った。

- 1991年：こども自然王国、基本構想の作成、
- 1992年：遊び方ソフト開発
- 1997～1999年：じよんのびツーリズム、モデル構想の作成
- 2000～2004年：じよんのびガイドマップの作成
- 2005年度より、市町村合併に伴い、管理運営業務を委任される。
- 2009～2012年：指定管理者（第一期）として業務に当たる。
- 2012年度より指定管理者（第二期）として業務に当たる。

●対応実績／平成26年度

- 利用者総計：88,186人
 宿泊利用者：7,596人
 キャンプ場利用者：1,835人
 日帰り利用者：78,751人
- 団体利用者（延べ人数）：
 宿泊：106団体、5,179人
 キャンプ：19団体、715人
 日帰り：209団体、8,299人
 スキー場：34団体、1,639人
- 福祉専門学校研修生受け入れ 7名
 新潟県立大学 6名
- スタッフ：フロント、厨房、プログラム指導、野外部門等
 常勤15名、非常勤25名。

●施設の特徴

新潟県立こども自然王国は、柏崎市高柳町にある宿泊型大型児童館である。屋内には宿泊棟、温泉、児童館、体験室、プレイホール、屋根つき広場、レストランなどがあり、屋外には大型遊具、バーベキュー広場、キャンプ場、自然観察路、野外売店、自然工作館など設備されている。また、冬にはスキー場の業務委託もしている。こども自然王国は「泊まる」「遊ぶ」「学ぶ」事のできる全国でも数少ない児童館である。(野外活動施設と宿泊施設を併せ持つ児童館は全国で3か所である)



足音をたてずに、そーっとそーっと近づいて

周囲は里山(田んぼや森林)、黒姫山、鯖石川など豊かな自然に恵まれており、高柳の自然と文化を体験的に学ぶことのできる様々なプログラムを用意している。専門の指導スタッフである児童厚生員(プレイリーダー)が常駐し、質の高いプログラム展開が可能であり、平成7年の開館以来毎年およそ20,000名の方にプログラムを体験していただいている。又、宿泊を伴った自然教室などでも多くの学校団体から利用していただいている。

●体験プログラムの特徴

体験プログラムは、主に次の2つのカテゴリーに分かれている。

①「週末体験プログラム」一般家族向け

こども自然王国は旅行の一つとしても利用されることが多く、ゴールデンウィークや夏休み、冬休みなど、長期の休日や週末に家族で遊びに来ることが多い。季節ごとに様々な体験プログラムを用意し、春にはバードウォッチング、初夏には



雪上体験は雪国ならではの体験です。

ホタル観察ツアー・カヌー教室、夏には昆虫の不思議を発見するツアー、秋にはトンボとり大会、冬は

スキー教室やスノーシューハイキングなど、季節に合わせたプログラムを実施している。

②「受託プログラム」平日学校団体向け

保育園・幼稚園、小学校、中学校、専門学校など、宿泊体験(自然教室)や遠足、総合学習の一環などで、特に平日利用の団体が多い。学校団体向けの体験プログラムを用意し、「自然体験」「本格的自然体験」「工作体験」「文化体験」「食育体験」「コミュニケーションプログラム」「親子向け」「冬限定雪上体験」など、豊富な体験メニューから選ぶことができる。「本格的自然体験」では、里山の森づくりをテーマにしたフォレストアズクラブや、沢を歩きながら地質や環境などが学べる沢登り探検など、その土地ならではの体験プログラムを実施している。「文化体験」では、高柳に昔から伝わる文化を実際に体験できる和紙作り体験やなわなひ体験、民話の舞台にもなっている高柳アドベンチャーハイクなどがある。「食育プログラム」では、米粉を使ったパン作りやクッキー作り、笹団子作りを実施している。



家族みんなで楽しめる自然散策

●食育体験+自然散策体験

こども自然王国では、23年度より取り組みをスタートさせた、食育と自然体験を組み合わせたプログラムに力を入れている。季節ごとに年4回のイベントが好評を得ており、平成26年度も小さな子どもから大人まで幅広い年齢層で楽しめる内容を企画した。

①田植え&田んぼの生き物さがし

田んぼで生き物探しや宝探しを行った後、地元の方の指導を受け、田植えに挑戦した。親子での参加者が多く、協力して田植えをする様子が伺えた。事後アンケートからは、田んぼの生きものと触れ合い、こどもが楽しんでいましたとの感想が聞けた。



一つひとつ丁寧に手で植えていきます。

②イモほり体験

サツマイモの収穫体験を実施した。様々な畑の作物や生き物を発見し、参加者は畑の自然とふれあった。昼食はサツマイモづくしの料理で、特にイモの手の炒め物が人気となった。大きなイモが採れ、こどもが大喜びでしたとの声が聞けた。



大きなサツマイモがとれました！

③稲刈り体験

初夏に植えた苗が育ち、稲刈りの体験を実施した。カマを使って手で刈りとる体験に、参加者は手刈りの大変さを実感しながらも楽しそうに体験していた。刈りとった稲はつり橋にかけ、参加者は達成感を味わっていた。クリスマスには、精米したお米を「架け橋米」と命名しプレゼントした。米を食す原点に立ち返ることが出来たとの感想が聞けた。



稲刈りガマを使って収穫。

④新米でごはん作り

秋に収穫したお米を使い、食事作りを行った。飯盒や昔ながらの釜を使ってごはんを炊き、季節の野菜を使ったトン汁作りに挑戦した。飯盒で炊いたご飯は、とても美味しくみんな笑顔になった。



飯ごうで炊いたご飯はふっくらホクホクです。

どのイベントもとても満足度が高く、参加者から好評を得ている。特に収穫体験は、食の原点を体験する良い機会になるとの声が聞ける。

また、地域の方々との交流や高柳の自然を満喫できることもプログラムの魅力になっている。

●王国アドベンチャー

6月29日(日)と10月11日(日)の2日間で王国アドベンチャーを実施した。6月は24名、10月は19名の参加者が集まった。

こども自然王国の森を秘密基地にして、自然と触れ合いながら思う存分遊ぶ事をテーマに行った。専用の器具を使って行う木登り体験や、ロープワーク、のこぎりを使ったクラフト、ハンモックやブランコ等たくさんの遊び要素を盛り込んで実施した。また、竹に生地を巻いて作るパン作りや、炭火でバームクーヘンを作るといった食体験も行った。



森の中でバームクーヘンを焼きました。

木登りに何度も挑戦する子や木材や竹を使って棚や椅子、テーブルを作るといったダイナミックな工作を楽しむ子など、思い思いに自然を楽しんでいた。



自分たちで遊び場を手作りします。



専用の用具を使った木登り体験。



わんぱくブリッジを彩るこいのぼり

で掲示することで、「忘れない！みんなでゲンキに」というメッセージを伝え、被災地の子ども達やその家族が、児童館でおもいきり遊んでもらえることを願うプロジェクトを当館でも実施した。こども自然王国では、ゴールデンウィーク期間を中心にキューブ、プレイホールの壁面、フロント入り口前、屋根付き広場やわんぱくブリッジに至るまで、多くのこいのぼりを掲揚した。

●高柳ガルのスキー場

こども自然王国が運営を行っている、ファミリー向けのスキー場である。新潟県立こども自然王国の本館からは、車で約5分の距離に位置している。全長約400mのペアリフトが備わったゲレンデには、緩やかな斜面が広がり、お子様連れの家族でも安心して滑走する事ができる。また、ソリ専用のコースも整備されており、スキーやスノーボードができないお子様でも雪遊びが楽しめる。レストランの営業も専門スタッフで行っており、種類豊富なメニューの中からお腹を満たす事が出来る。

平日は柏崎市内の小中学校のスキー授業や保育園児のソリ体験等、授業や外遊びの一環として利用される。週末は小学生や幼児がいるご家族の利用がほとんどで、スキー・スノーボードのレンタルも取り扱っているため、初心者の方でも気軽に来場できる。また、年配の方にも利用しやすいゲレンデ状況となっているため、平日はシニア層の利用が多いのも特徴である。

降雪状況にもよるが営業期間は、例年12月下旬から3月中旬までとなる。26年度の利用状況では、リフト乗車人数は71,422人、入場者数は7,451人にのぼった。



全長424mのペアリフトで山頂を目指します。

期間中は毎週末「スキー講習会」や幼児向けの「スキーようちえん」などのスキースクールも開催され大変にぎわう。またスキー場まつりや、SAJバッジテスト、ガルルカップスラローム大会など様々なイベントも開催され、スキーをはじめ履く子どもから、スキー上級者の方まで、多くの方に利用して頂けるような取り組みを行っている。

さらに、こども自然王国での宿泊とスキー場でのリフト券等がセットになったお得なパッケージプランも企画し、遠方からの利用者の獲得に力を注いでいる。



スキー講習会は、一人ひとりにレベルを合わせて指導します。

イベントやスクールは地域や地元のスキー連盟と協働で開催するものもあり、高柳地域には無くてはならない冬期間の体育施設の一つとなっている。